

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

下田地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

## 1 全事業共通

### 地域の現状と課題について

これまで同様に継続的な課題として、以下の項目が挙げられます。

・包括担当エリアは日吉地区の西部に位置し、エリアの高齢化率が23%を超えています。（特に下田町1～4・6丁目、日吉本町5～6丁目が高く推移している。）そのため、認知症自立度Ⅱ以上の方の割合も増加傾向となっていることから、認知症の理解や啓発の促進と共に住民同士の支え合いを一層支援していく必要性があります。

（JAGESによる地域診断からも、今後この地域は「うつ・認知症・閉じこもり」のリスクが高くなることが予想されている。）

・また一方で、若い世代の転入、転出も多く、0～64歳の人口は5年前より減少傾向。（特に日吉本町2丁目は、少子化傾向にある。）子育て世代については慣れない土地での子育てに不安を感じる親が多く、それに伴い、地域の子育て支援活動が活発です。

・地理的なリスク（山坂が多く、車両による通行が困難な細道などが幾筋もある）も重ねて、高齢化に伴い、外出や買い物等への障害となっており、日々の生活支援の取り組みも必要と考えます。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者・障害・子ども等幅広い分野に関する情報や資料を常に最新の状態とし、情報ラウンジに配架し、必要時配付できる体制を整えます。

また、外部の会合にも積極的に参加し、ニーズの把握につとめ、職員間で情報共有し、適切な支援を行えるようにします。

さらに、自主事業等の場では、必ずケアプラザの役割や機能を周知し、困った時等に利用していただけるよう働きかけます。

### (2) 各事業の連携

毎月5職種会議を実施し、個別支援および地域支援の進捗を共有します。そして、5職種協働で実施する事業では、新たな人材の発掘の視点を持ち、地域につながっていけるようコーディネートします。

また、事業を通じて把握できた課題について、上記のとおり職員間で共有し、新規事業や既存事業へフィードバックしながら、つなげていきます。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

職員が適切に配置され、必要と希望に応じて外部研修に積極的に派遣し、各職員の質的向上を目指します。また、施設内および法人内会議で、職種ごと部門ごとの計画的な自己研鑽を、公正中立に関するものも含めて行います。

#### ○具体的な取り組み

- ・法人の人材育成制度の活用
- ・研修を活用した人材育成（外部及び法人内研修）
- ・派遣と情報共有（伝達研修や報告書回覧等）
- ・内部会議の充実  
（ケアプラザ運営会議、包括センター会議、5職種会議、デイサービス会議ほか）

### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域の各種団体組織や行政機関等との関係強化に努め、地域のネットワーク構築に取り組みます。

- ・地区民生委員児童委員協議会の定例会や地区社会福祉協議会ボランティア連絡会には包括とコーディネーターと一緒に参加し、個別支援及び地域支援について適宜情報提供を行います。
- ・「日吉キッズステーション」発行にあたり、子育て支援者等と情報交換を行います。
- ・区内他ケアプラザや自立支援協議会と協力した障害児に余暇事業に取り組みます。
- ・「えんがわの家 よってこしもだ」とタイアップして事業を通じて、地域に「通いの場」の周知を広げます。

### (5) 区行政との協働

区政運営方針と連携しながら、区役所の各担当者と協働していきます。特に「活気にあふれるまちづくり」や「地域で支えあう福祉・保健のまちづくり」に力を入れていきます。

#### ○具体的な取り組みとして

- ・第3期「ひっとプラン港北」も折返し年となり、日吉地区計画を推進すべく各地区の地域ケア委員会がこれまでを振り返りながら、主体的に活動できるように引き続き支援します。
- ・保健活動推進員会主催のウォーキングや体力測定会に参加し、介護予防の取り組みと連動させていきます。
- ・シニアがいきいきと生活できる環境づくりの為に、生きがい就労支援スポットと連携します。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

今年度も自主事業を企画する際には、地域で活躍されている方に講師やボランティアとして参加して頂き、住民同士の交流も拡げます。施設のおまつりである「ケアプラザへ行こう」では2日間のうち1日を地域の方を中心に企画を練り会場を提供することも含め自治会と話しを進めています。

また、事業の開催に関して、ケアプラザから遠方にお住まいの方々の参加が課題として挙げられております。地域の自治会町内会協力の下、地域の町内会館等を利用し、どなたでも参加できるよう工夫していきます。

#### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

団体の高齢化に伴い、活動する事自体が困難になっている現状ではありますが、できる事を最大限発揮できるようコーディネートしていきます。地域の社会資源として意識を持ってもらい、活動を通じて、生きがいや遣りがい等も得られるよう働きかけます。

具体的にはデイサービスでの披露やイベント時のサポートや調理等を提案する予定です。

#### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

各種講座等に参加された方に、ボランティアについて説明し、活動できるよう働きかけます。希望者の登録、および様々な活動へのコーディネートを実施します。

また、近隣の小中学校からの福祉体験・職業体験や、「ボラリーグこうほく」の学生を受け入れ、福祉保健活動の啓発にも努めます。7月に車椅子の体験講座を開き新規ボランティアの獲得も目指します。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

広く地域に出て、どの場所でどのような福祉保健活動が行われているか、情報を把握し、活用します。施設内での活動のみならず、地域のサロン等に働きかけ、各団体に適した福祉保健活動を提案・コーディネートします。

また、毎月発行している広報紙や施設ホームページ、さらには地域で独自に行っている広報物等の様々な媒体も活用しながら、情報発信にも努めます。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

地域支援方針を定例カンファレンスの場で共有し、所内の5職種会議では随時事業の協力体制の確認を行います。

具体的な取り組みとして、昨年度から準備していた。定年後男性が閉じこもらずに地域を知り、活躍できる場づくりのセカンドライフ講座を日吉本町地域ケアプラザと共催します。さらに、区域の生活支援コーディネーター連絡会の活動として、ボランティア活動に関心を示している方とつながるための取り組みを始める予定です。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

今年度も引き続き、包括の相談内容の情報をデータ化・分析します。そこから見える課題や問題点を、ケアプラザ職員並びに区役所・区社協とも共有していきます。また、地域の会合や地区踏査から資源の情報を更新し、より情報共有ができるためのマップを作成する予定です。

### (3) 連携・協議の場

自治会町内会や民生委員児童委員協議会、ボランティア会など既存の団体はもちろんの事、日頃より、個人や地域のグループとも様々な場面で意見交換に努め、連携強化を図ります。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

区域のコーディネーター連絡会で、他ケアプラザ等の情報や課題を共有し、課題解決に向けて積極的に関わります。参考になる点等は担当地区での活動に活かします。また、連絡会の活動として、ボランティア活動に関心を示している方とつながるための取り組みを始める予定です。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

地域の会合等へ参加しながら、町の身近な相談窓口となる地域包括支援センターの周知を継続して行い、地域の課題を共有してもらいます。地域の問題解決を行う為のカンファレンス（地域ケア会議等）を適宜開催し、そこから地域の誰もが負担なく支え合える仕組みや、新たな集える場所が自主的に設けられるよう働きかけをします。

#### ② 実態把握

相談や講座の申し込み等を利用しての地域の情報収集と、講座等のアンケートからニーズを把握し行い、地域に必要な社会資源や事業等をケアプラザ職員間で検討し、開催・実施します。さらに、ケアプラザを利用するサークルと連携し、ニーズの把握や状況確認、後方支援などの早期の対応ができるように努めます。

#### ③ 総合相談支援

様々な地域の相談に対し、包括支援センター及びケアプラザ全体で協力しながら、早期に適切な情報を（地域資源や介護予防事業など）提供していきます。また、介護サービスを利用しない場合も、地域のサロンや介護予防の講座につなげる等、幅広く見守りをします。データベースを活用して、的確なタイミングで追跡・フォローするよう努め、状況悪化の回避に努めます。

必要に応じて関係機関や制度につなげるとともに、5職種間で課題を共有した上で、新たな事業へと結びつけます。内部では随時、検討会議・情報交換、相談票の共有、制度や資源の学習を行い、定例カンファレンスや同行訪問を通じて区職員とも日頃の連携を保ちます。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

地域の一般住民向けや、支援者向けに、講座等を開催して、成年後見制度の普及啓発を進めます。一般向け相談会を実施したり、個別相談の中で必要な方に利用の勧奨や手続きの支援をしたりして、利用を促進します。

消費者被害の情報を区域・市域で共有し、ケアプラザ内にも周知して、様々な場面で地域の方々に伝達していきます。

#### ○主な取り組みとして

- ・関連したテーマでの連続講座を開催し、老後の意思決定支援を行います。
- ・行政書士会と協働した地域サロンでの出張講座を開催。
- ・エンディングノート・遺言に関する講座の開催（年2回予定）
- ・地域のマンションやサロンでの普及啓発講座（年1回予定）

### ② 高齢者虐待への対応

高齢者虐待を防止し、早期発見するために、関係機関との連携ネットワークを強化し、情報共有に努めます。

#### ○主な取り組みとして

- ・地区の介護サービス事業所向けに、他ケアプラザと協働し研修を実施します。
- ・介護者のつどいを定期開催。（その他、情報提供のための講座を随時開催予定。）
- ・通所事業所向けハンドブック研修の開催予定。

### ③ 認知症

地域のキャラバンメイトを育成し、効果的な講座の開催ができるようにします。また、認知症の正しい理解の促進のため、専門家からの症状や予防法・接し方等に関する講座を、一般向け・介護者向けに開催します。（正しい認知症の理解のための普及啓発・講演会やサポーター養成講座など）。

「介護者のつどい」で認知症高齢者を介護する家族の支援を行うとともに、日々の相談対応では本人を困む家族・近隣や民生委員がより良い接し方・支え方ができるよう、共に考え、助言します。また、認知症の人と家族の集える居場所作りの運営と支援を、ボランティアの方や地域の方とともにいきます。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・地域の関係会議、イベント等に参加し、ケアプラザの紹介や情報提供、情報交換や意見交換を行います。
- ・「ひとり暮らし高齢者地域で見守り支援事業」を通じて、地域の関係機関との情報交換を行います。
- ・地域のケアマネジャーとの情報共有や相談内容等からニーズ把握に努め、勉強会や情報提供等を行っていき、さらに、インフォーマル情報誌や事業者アピールシート等の情報誌を改訂し、情報提供します。

## ②医療・介護の連携推進支援

- ・高齢者支援ネットワークの担当でもあるため、世話人会 8 回、研修会 3 回に参加し、「連携しやすい関係作り」に努め、互いに研鑽します。
- ・協力医による相談会を月 1～2 回行い、地域のケアマネジャーからの医療相談に対応できるようにします。
- ・包括レベル地域ケア会議でも、専門職（特に医療）と地域をつなげる分科会で、地区ごとの懇談会等を開催します。

## ③ケアマネジャー支援

地域のケアマネジャーに対し相談支援を随時行い、さらにケアマネジメントの質の向上のため勉強会等企画します。そして、区内包括合同で、研修会やインフォーマルサービス情報誌等の改訂を行い、情報提供も行います。また、新任ケアマネジャーや地域の主任ケアマネジャー向けに研修会を行い、顔の見える関係作り、連携強化に努めます。

## (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種連携事業（高齢者支援ネットワーク・ガンバ港北等への参加・企画運営を共催）を続け、連携推進に取り組む。研修会を計画的に共催していき、質の向上を目指します。

地域ケア会議（個別ケース・包括レベル）を実施し、地域課題の検討、解決に向けた連携作りを進める。包括レベル地域ケア会議の3つの分科会「専門職と地域のネットワーク構成」「認知症」「団塊世代の地域デビュー」をそれぞれ展開し、地域課題に取り組みます。

## (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

事業対象者や要支援認定者が望む生活の実現に向けた介護予防ケアマネジメントを行います。そのためには、自立支援に向けた地域のインフォーマルサービスを活用し、地域でこれからも頑張れる意欲や生きがいを引き出せるようにしていきます。

委託の事業所のケアマネジャーへは、適切な介護予防ケアマネジメントが実践できるよう助言等を行い、必要時事例検討会などを開催していきます。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

- ・企業や地域の介護予防事業所等と協働しながら、魅力ある講座を企画し、介護予防の知識と実技を学ぶ機会を提供します（講座や教室の開催など）。
- ・介護予防グループの活動継続に対する問題点の把握と支援と共に、それらを支える後方支援者の発掘も目指していきます。
- ・生活支援及び地域交流両コーディネーターと地域の特性を活かした事業の検討や実施をします。また、協働で既存の介護予防サークルやボランティア団体などとの交

流会を開催し顔見知りの関係や、お互いに支え合えられるような関係づくりを目指します。

## その他


以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

施設の保守管理および環境維持を定期的・日常的に実施し、公共の財産を良好な状態に維持するよう、適切な管理に努めます。

また、建築物・設備の破損・汚損に対する予防保全に努め、破損・汚損を発見した場合は速やかに回復または保全の措置を行います。

#### イ 効率的な運営への取組について

業務を不断に見直すことで、ムリ・ムラ・ムダを省き、効率良く効果的に運営を進めます。その他経費節減のため、業務委託契約等について、規程に基づき、見積り合わせや入札の実施を徹底します。

#### ウ 苦情受付体制について

法人に苦情解決調整委員会およびその第三者委員が設置されているので、体制としては整っています。今後も、要望・苦情に対し適切に対応するとともに、アンケート等を通じ、利用者の要望等を汲み上げてゆきます。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯・防災、その他緊急事態対処のため、マニュアル・チェックリスト等を活用するとともに、定例の内部会議等で随時職員を指導し、意識の喚起に努めます。さらに、防犯カメラの設置により、抑止力が高まり、利用者及び職員の安全を確保するとともに、地域の防犯対策への一助になると考えます。

また、防災訓練を2回以上実施します。防災備蓄の入れ換え等を、必要に応じて行います。

#### オ 事故防止への取組について

日々の職員ミーティングで、ヒヤリハットや細かな気付きも含めた情報を共有します。また、月例の部門別会議や事故防止委員会で復習・対策等を検討して、事故防止に努めます。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

法令および法人の個人情報保護規程に基づいて適切に対応するとともに、内部の諸会議等の機会を活用して、全職員に研修を行い、意識啓発に努めます。

#### キ 情報公開への取組について

法人・施設広報紙や運営協議会等を通じて、地域への情報公開に努めます。また、介護サービス情報の公表、事業報告・計画の区役所HPでの公表等、所定の制度に対応します。

#### ク 人権啓発への取組について

指定管理者としての公正・中立性、また、福祉に携わる者としての人権意識を高め維持するため、法人倫理規程その他の方針・指針、毎年の「利用者アンケート」等を活用し、内部研修を行います。ミーティングや事例検討（ケースに関する情報交換を含む）の場も、自らの姿勢の振り返りの機会とします。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市のごみ減量化・資源化の取り組みに積極的に対応します。省エネルギーに関しても、当施設の建物には、夜間電力利用や熱交換のシステム、センサー水栓等が設置されているので、それらを適切に活用し、また、日常業務を不断に見直す中でムダを省いてゆきます。

ボランティアの協力をいただきながら、引き続き、施設緑化に取り組み、そのためのボランティア活動支援にも積極的に取り組みます。



## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

看護師 1  
社会福祉士 1  
主任ケアマネジャー 1  
ケアマネジャー 2（非常勤）

#### 《目標》

本人の望む生活が実現できるように、生きがいや自己実現のために、生活の質の向上をめざし、地域で自立した生活が送れるように支援します。

また、地域の特性を活かした介護予防事業をおこない、人と人とがつながり、地域が健康になるように支援します。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
- 
- 

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防支援業務専従のケアマネジャーが中心となって、他職種と連携を取りながら、委託ケースの管理をします。

介護保険サービスだけでなく、インフォーマルサービスの提案や地域のつながり、顔の見える関係づくりを支援しながら、そこからの卒業を視野に入れたケアマネジメントを行います。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
220	220	222	222	224	224
10月	11月	12月	1月	2月	3月
226	226	228	228	230	230

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 3人（常勤専従2・常勤兼務1）

《目標》

利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総合的かつ効率的に提供するための連絡調整を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ケアマネジャーは全員、資格更新を終え、これまでに多くのケース数を経験した職員を配置しております。
- ・年6回隔月で運営法人内の4ケアプラザでケアマネジャー会議を開催し、情報共有や研修等を行いながら自己研鑽に努めております。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
107	107	107	107	107	107
10月	11月	12月	1月	2月	3月
108	108	108	108	108	108

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護
- 送迎・入浴・食事・レクリエーション・リハビリ等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（サービス提供体制加算Ⅱ・中重度者ケア体制加算を含む）

（要介護1）	818円/回
（要介護2）	946
（要介護3）	1080
（要介護4）	1211
（要介護5）	1344

- 認知症加算1割負担分 65円/回
- 入浴加算1割負担分 54円/回  
（2・3割負担のご利用者からは2・3倍額いただきます）
- 介護職員処遇改善加算 総額の2.3%
- 食費負担 750円/食
- 通常の事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費

越えて1km（道程）まで片道	100円
2kmまで	200円
4kmまで	300円
4km超	400円

- 特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:15～16:20

《職員体制》

生活相談員兼介護職員	3人	看護職員	4人
介護職員	13人	運転手	8人

《目標》

利用者が自立した日常生活を営むことおよび利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

和やかでのんびりした雰囲気です。楽しみながら長く通っていただくことが、要介護状態の維持（悪化防止）につながると考えています。

季節の行事や、寿司バイキング・松花堂弁当等の特別メニューをご提供します。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
700	750	750	780	800	750
10月	11月	12月	1月	2月	3月
800	750	720	720	720	780

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護
- 送迎・入浴・食事・レクリエーション・リハビリ等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 基本料1割負担分（サービス提供体制加算Ⅱを含む）  
 （要支援1） 1709円/月  
 （要支援2） 3504
- 運動器機能向上加算1割負担分 242円/月  
 （2・3割負担のご利用者からは2・3倍額いただきます）
- 介護職員処遇改善加算 総額の2.3%
- 食費負担 750円/食
- 通常の事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費

越えて1km（道程）まで片道	100円
2kmまで	200円
4kmまで	300円
4km超	400円

- 特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:15～16:20

《職員体制》

生活相談員兼介護職員 3人 看護職員 4人  
 介護職員 13人 運転手 8人

《目標》

利用者が自立した日常生活を営むことおよび利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

和やかでのんびりした雰囲気です。楽しみながら長く通っていただくことが、要支援状態の維持改善につながると考えています。  
 季節の行事や、寿司バイキング・松花堂弁当等の特別メニューをご提供します。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	16	17	18	19	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
21	22	23	24	24	24

平成30年度「横浜市下田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

(税込、単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,625,335		15,625,335	15,625,335	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	806,325		806,325	806,325	0	
収入合計	20,019,160	0	20,019,160	20,019,160	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,227,000	0	11,227,000	0	11,227,000	
本俸	7,397,000		7,397,000	0	7,397,000	職員 非常勤 本俸
社会保険料	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	社会保険料
手当計	2,500,000		2,500,000	0	2,500,000	期末手当等
健康診断費	30,000		30,000	0	30,000	職員健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	0	100,000	退職共済
その他	200,000		200,000	0	200,000	医療福祉機構退職共済掛け金
事務費	1,270,000	0	1,270,000	0	1,270,000	
旅費	40,000		40,000	0	40,000	出張交通費
消耗品費	110,000		110,000	0	110,000	コピー用紙等
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	20,000		20,000	0	20,000	封筒印刷等
通信費	180,000		180,000	0	180,000	電話代等
使用料及び賃借料	649,600	0	649,600	0	649,600	
横浜市への支払分	9,600		9,600	0	9,600	施設目的外使用料
その他	640,000		640,000	0	640,000	コピー機リース等
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	0	50,000	賠償責任保険
職員等研修費	8,000		8,000	0	8,000	研修参加費
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	給与等振込み手数料
リース料	0		0	0	0	
手数料	800		800	0	800	残高証明手数料等
地域協力費	3,600		3,600	0	3,600	自治会費
その他	198,000		198,000	0	198,000	社労士顧問料 他
事業費	470,000	0	470,000	0	470,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算:指定額
指定管理料充当 事業	428,000		428,000	0	428,000	
管理費	6,154,000	0	6,154,000	0	6,154,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	3,424,000	0	3,424,000	0	3,424,000	
電気料金	1,124,000		1,124,000	0	1,124,000	
ガス料金	800,000		800,000	0	800,000	
水道料金	1,500,000		1,500,000	0	1,500,000	
清掃費	1,450,000		1,450,000	0	1,450,000	定期 日常清掃
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算:指定額
機械警備費	120,000		120,000	0	120,000	機械警備
設備保全費	446,000	0	446,000	0	446,000	
空調衛生設備保守	104,000		104,000	0	104,000	冷却塔清掃他
消防設備保守	48,000		48,000	0	48,000	消防設備点検
電気設備保守	72,000		72,000	0	72,000	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	16,000		16,000	0	16,000	殺虫消毒
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	206,000		206,000	0	206,000	自動ドア エレベーター保守等
共益費	0		0	0	0	
その他	240,000		240,000	0	240,000	植栽剪定 ごみゼロ回収等
公租公課	898,160	0	898,160	0	898,160	
事業所税			0		0	
消費税	898,160		898,160	0	898,160	職員人件費にかかる消費税
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一対対応費			0		0	
支出合計	20,019,160	0	20,019,160	0	20,019,160	
差引	0	0	0	20,019,160	20,019,160	

自主事業費収入	428,000		428,000	0	428,000	
自主事業費支出	428,000		428,000	0	428,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市下田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,181,000		23,181,000		23,181,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,486,500		1,486,500	1,486,500	0	
収入合計	30,607,500	0	30,607,500	1,486,500	29,121,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,644,000	0	26,644,000	0	26,644,000	
本俸	13,764,000		13,764,000		13,764,000	職員 非常勤職員 本俸
社会保険料	3,500,000		3,500,000		3,500,000	社会保険料
手当計	8,500,000		8,500,000		8,500,000	期末手当等
健康診断費	30,000		30,000		30,000	職員健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000		400,000	退職共済
その他	450,000		450,000		450,000	医療福祉機構退職共済掛け金
事務費	1,200,000	0	1,160,400	0	1,160,400	
旅費	70,000		70,000		70,000	出張交通費
消耗品費	90,000		90,000		90,000	コピー代等
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	10,000		10,000		10,000	封筒印刷等
通信費	210,000		210,000		210,000	電話代他
使用料及び賃借料	39,600	0	0	0	0	
横浜市への支払分	9,600				0	施設目的外使用料
その他	30,000			0	0	コピー機リース等
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000		50,000	賠償責任保険
職員等研修費	28,000		28,000		28,000	研修参加費
振込手数料	12,000		12,000		12,000	給与等振込み手数料
リース料	0		0		0	
手数料	400		400		400	残高証明等手数料
地域協力費	0		0		0	
その他	690,000		690,000		690,000	燃料費 社労士等顧問料 他
事業費	1,127,500	0	1,127,500	0	1,127,500	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	37,500		37,500		37,500	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,636,000	0	1,636,000	0	1,636,000	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	860,000	0	860,000	0	860,000	
電気料金	260,000		260,000	0	260,000	
ガス料金	200,000		200,000	0	200,000	
水道料金	400,000		400,000	0	400,000	
清掃費	400,000		400,000		400,000	日常 定期清掃
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	40,000		40,000		40,000	機械警備
設備保全費	130,000	0	130,000	0	130,000	
空調衛生設備保守	30,000		30,000		30,000	冷却塔清掃他
消防設備保守	15,000		15,000		15,000	消防設備点検
電気設備保守	20,000		20,000		20,000	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	殺虫消毒
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	60,000		60,000		60,000	自動ドア エレベーター保守等
共益費	0		0		0	
その他	80,000		80,000		80,000	植栽剪定 ごみゼロ回収等
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	30,607,500	0	30,567,900	0	30,567,900	
差引	0	0	39,600	1,486,500	1,446,900	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市下田地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6000		6000	16800		16800	73300		73300	2700		2700
	その他	6000	0	6000	150	0	150	16300	0	16300	600	0	600
	介護予防ケアマネジメント費	6000		6000	0		0	0		0	0		0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	0		0
	利用者負担金	0		0	0		0	8300		8300	200		200
	利用者食事代	0		0	0		0	6000		6000	400		400
	認定調査	0		0	150		150	0		0	0		0
	利用者他食事代収入	0		0	0		0	2000		2000	0		0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>12000</b>	<b>0</b>	<b>12000</b>	<b>16950</b>	<b>0</b>	<b>16950</b>	<b>89600</b>	<b>0</b>	<b>89600</b>	<b>3300</b>	<b>0</b>	<b>3300</b>
支出	人件費	3884		3884	17155		17155	70700		70700			
	事務費	140		140	1400		1400	4350		4350			
	事業費	0		0	58		58	7874		7874			
	管理費	0		0	0		0	11500		11500			
	その他	4000	0	4000	0	0	0	2650	0	2650			
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	0		0			
	消費税	0		0	0		0	0		0			
	介護予防プラン委託料	4000		4000	0		0	0		0			
	利用者他給食費	0		0	0		0	2650		2650			
	その他	0		0	0		0	0		0			
<b>支出合計(B)</b>	<b>8024</b>	<b>0</b>	<b>8024</b>	<b>18613</b>	<b>0</b>	<b>18613</b>	<b>97074</b>	<b>0</b>	<b>97074</b>				
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>3976</b>	<b>0</b>	<b>3976</b>	<b>-1663</b>	<b>0</b>	<b>-1663</b>	<b>-4174</b>	<b>0</b>	<b>-4174</b>				

「通所介護」及び「予防通所介護・第1号通所介護」は、一体的に運営のため、支出は「通所介護」及び「予防通所介護・第1号通所介護」の合算。

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
心の健康を考える講座	<p>【対象者】 地域全般</p> <p>【目的】 生活支援センターと共催。参加された方が「おはなしもだ」への参加のきっかけになることも期待している。</p> <p>【実施内容等】 うつや統合失調症という、いわゆる精神疾患の理解を深める講座。</p>	春・秋

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり 「ケアプラザへ行こう 2018」	<p>【対象者】 地域全般</p> <p>【目的】 地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知するとともに、貸館利用団体およびデイサービスご利用者の作品・演技披露の場を提供し、交流を促す。</p> <p>【実施内容等】 貸館団体による作品展示、演奏披露、中学生による認知症をテーマにした寸劇など</p>	11月17日・18日（土・日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音の波言の葉 音楽と朗読のコンサート	<p>【対象者】 地域全般</p> <p>【目的】 多くの世代の方に参加して同じく感動できる場を設定する。</p> <p>【実施内容等】 音楽と朗読のコラボレーションという魅力的かつ定例のコンサート。</p>	2月ごろ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自立高齢者 ミニデイサービス「喫茶マロニエ亭」	<p>【対象者】 地域の高齢者（要介護認定「非該当」～「要支援」程度を想定）</p> <p>【目的】 社会性を保つ為の外出先を確保すると共に、身近な健康チェックの場を提供する。ボランティアと共に運営。</p> <p>【実施内容等】 喫茶サロン。その中で血圧測定、NHK「みんなの体操」を実施。年に数回は貸館団体等の披露もある。</p>	第1・3水 全21回



# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者食事会 「お食事処 すずらん」	<p>【対象者】 地域の独居高齢者</p> <p>【目的】 社会性を保つ為の外出先を確保すると共に、バランスの良い食事を提供する。ボランティアと共に運営。</p> <p>【実施内容等】 食事の提供</p>	第1火 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン 「すてっぷ」	<p>【対象者】 子育て経験の浅い親とその子たち</p> <p>【目的】 子育ての先輩ボランティアを中心に子供を遊ばせながら、情報交換のできるスペースを提供するとともに、子育ての知恵を獲得する機会のある場とする。</p> <p>【実施内容等】 10:00～11:30の時間の中で自由に利用できる。</p>	第2・4金 全22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子学級 「イルカ」	<p>【対象者】 平成30年度中に3歳および4歳になる未就園児</p> <p>【目的】 同一年度に出生した子とその親を対象に、親子の触れ合い・スキンシップを育むため、親子交流・あそびを学ぶ機会を提供する。 親子学級支援者「ポケット」との共催。</p> <p>【実施内容等】 各回ごとにテーマを設け工作や運動会などを実施。</p>	7～1月 全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のソバ打ち 体験教室	<p>【対象者】 小学生とその親</p> <p>【目的】 ケアプラザを利用する機会が少ない、小学生とその親を対象。元気シニア教室から自主化した団体が講師役となり、地域貢献を实践できる場を提供する。</p> <p>【実施内容等】 そば打ちサークルが講師役として開催するソバ打ち、試食。</p>	5月13日(日)

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパの育児教室	<p>【対象者】 ①乳幼児のパパ ②第1子の0歳児とパパとママ</p> <p>【目的】 子育てに不安を抱いているパパと、パパに子育てに参加してほしいと思っているママを対象とする子育て支援事業。子供と一緒に遊びながら、家族どうしが情報交換し、遊び方を学ぶことができる場を提供する。区役所と共催。</p> <p>【実施内容等】①佳久こどもクリニックの佳久院長を講師に緊急時の対応について ②パパとママが分かれてのプログラムを実施。パパは子育て支援者から手遊び等のレクチャー、ママは工作を実施。</p>	秋以降、2回開催予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬休み書初め練習教室	<p>【対象者】 小学生～中学生</p> <p>【目的】 地域ケアプラザが高齢者だけの施設でないことを周知すると共に、学校の長期休暇を利用し、参加する子どもどうしが交流を持ちながら宿題に取り組む場を提供する。</p> <p>【実施内容等】ケアプラザで活動されている書道の団体をはじめ地域のボランティアを講師に宿題の書初めを行う。</p>	12月後半を予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢障がい児夏休み生活支援「こうほくなつとも2018」	<p>【対象者】 学齢期の障がい児（小中学生）</p> <p>【目的】 学齢期の障がい児に、夏休みの活動の機会や場、ボランティアとの交流を、身近な地域で提供する。区役所・区内地域活動ホームと共催。</p> <p>【実施内容等】室内でのレクレーションや外出プログラムの実施。</p>	①7月30日（高田） ②8月7日・8日（日吉本町）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほくからふる2018	<p>【対象者】 学齢期の障がい児（小学生～高校生）</p> <p>【目的】 学齢期の障がい児に、長期休みの活動の機会や場、ボランティアとの交流を、身近な地域で提供する。港北区地域ケアプラザ6館での共催。小学生・中学生・高校生版と3回実施。</p> <p>【実施内容等】 横浜周辺の施設等に外出</p>	

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン おはなしもだ	<p>【対象者】</p> <p>【目的】 心の病を抱えている本人とその家族が気軽に集え、同じ立場の方やボランティアの方々とお話ができる場（サロン）を定期開催する。 生活支援センターと共催。</p> <p>【実施内容等】 生活支援センターの職員さんが毎回テーマを出し気軽に話ができる場を提供</p>	奇数月の第三木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 派遣・支援	<p>【対象者】 ボランティア希望者</p> <p>【目的】 下田地域ケアプラザ各種事業へのボランティア派遣をコーディネートすると共に、ボランティア活動の支援を行う。</p> <p>【実施内容等】 デイサービス、園芸、喫茶マロニエ亭などへの紹介</p>	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸ボランティ ア 活動支援	<p>【対象者】 園芸ボランティア</p> <p>【目的】 下田地域ケアプラザ敷地内にあるプランターを手入れして下さる園芸ボランティアに対して必要な道具等の整備やミーティングを提供し、円滑に活動できるよう支援する。</p> <p>【実施内容等】 ミーティングの実施。園芸用品の購入など</p>	随時。全体ミーティングとして毎月第2金曜日に開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア懇 談会	<p>【対象者】 下田ケアプラザで活動されているボランティアさん</p> <p>【目的】 下田地域ケアプラザ各種事業で活動して下さっているボランティアさんたちと、日々の活動で感じる喜びや疑問・不安などを話し合う機会を設定し、ボランティア間で共有するとともに各事業担当者への貴重な意見として伺う。</p> <p>【実施内容等】 グループワークなど</p>	3月を予定

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スクエア・ステップ	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 楽しく認知症予防をおこなう。また、日々の相談者等の外出のきっかけ作りや、顔なじみの関係づくりの一助</p> <p>【実施内容等】 認知症の方もそうでない方も、お互いに支え合い、地域でも声をかけあえるような顔見知りの関係となる地域づくりができる。</p>	毎月第2木曜日： 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
月いち体操・からの会	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 ロコモ予防や口腔・栄養等を基本とした、健康な体と心をつくる体操教室。</p> <p>【実施内容等】 いつでも参加できる体操教室を実施することで、体を動かすきっかけ作り、外出のきっかけ作りとなる。また、お互いが顔見知りとなることで、健康弱者に対する意識できるようになる。</p>	毎月土曜日： 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防セミナー2018：高齢者に多い呼吸器疾患について	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 介護予防の必要性や事業の周知と、高齢者の死因の上位を占める呼吸器疾患を正しく学び、予防等の行動がとれるようにケアプラザの協力医と行う。</p> <p>【実施内容等】 高齢者に多い呼吸器疾患について協力医から講義のあと、介護予防の必要性や家でもできる予防体操等の情報提供を行う。また、これからの事業について周知する。</p>	平成30年4月12日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
セルフメンテナンスと正しい歩き方教室	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 正しい歩き方をするための、体のメンテナンス方法を学び実行できる。自分の体力等を知り正しく運動ができる。</p> <p>【実施内容等】 ロコモ予防や、体の不具合を知り対応することができることで、無理のない生活が継続できる。</p>	6月から12月までの第1木曜日・全7回 (ただし8月は栄養、口腔ケアを実施)

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しく食べて、健康に	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 企業の方とともに魅力ある講座づくりを行う。</p> <p>【実施内容等】 各世代に必要な栄養を取るためにはどうするか等の話を、企業の特性を活かして講義をしてもらう</p>	平成30年5月30日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
行政書士による成年後見相談会	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 成年後見制度利用に際して、制度概要や助言などを専門家と無料にて直接相談できる。</p> <p>【実施内容等】 後見申立検討中の方も含めて、個々の事情に合わせて、相談をうける。</p>	平成30年8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度及び老後の準備について	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 日吉地区の地域住民を中心に、介護予防要素を交え、遺言・相続の入門編として知識を案内。</p> <p>【実施内容等】 同じテーマで、2日程開催。1回目は成年後見制度概要を全般的に講義形式で案内し、2回目はケースカンファレンスや参加者の質疑応答中心に行う。</p>	平成30年8月 平成30年9月 各1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の！セカンドライフカレッジ	<p>【対象者】 70歳までの日吉地区に住む男性</p> <p>【目的】 これから定年を迎える（迎えた）男性が健康を保ち、自宅に閉じこもることなく充実した生活を送ってもらう事。</p> <p>【実施内容等】 講義・グループワーク・まち歩き等</p>	4 / 19～ 6 / 18 全6回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療連携支援事業	<p><b>【対象者】</b> 地域を担当する介護支援事業所</p> <p><b>【目的】</b> ケアマネジメントや対応をする際の医療的な問題に関し、医師より助言を得る機会を設け、今後の対応、ケアマネジメントに活かしていく。</p> <p><b>【実施内容等】</b> 毎月第2・4火曜日13:00からケアプラザ協力医の相談時間を開放し、ケアプラン、対応についての相談・助言を受ける。予約制で1回10～20分程度。サービス担当者会議開催支援としても利用可としている。</p>	毎月第2・4火曜日 13:00～

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域ケアカンファレンス (単館)	<p><b>【対象者】</b> 担当地域で活動している介護支援事業所のケアマネジャー</p> <p><b>【目的】</b> ケアマネジャーの資質向上に向けた支援</p> <p><b>【実施内容等】</b> 制度や事例検討会等ケアマネジメント力向上に向けた研修会を企画していく。</p>	2回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
下田メモリーカフェ	<p><b>【対象者】</b> 地域住民</p> <p><b>【目的】</b> ①認知症当日者が通える場の確保 ②認知症の方の家族の情報交換 ③ボランティアや一般参加者が認知症当事者と接することによる認知症の理解の促進</p> <p><b>【実施内容等】</b> サロン形式でお茶とお話を楽しむ。途中認知症の知識や認知症予防プログラムを実施。ボランティア下田と共催。</p>	第2木曜 年間9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉体験学習	<p><b>【対象者】</b> 主に地元の中学生向け</p> <p><b>【目的】</b> 公的施設の役割として、中学生にケアプラザでの業務内容・必要性を実際に見て、学んでもらい、社会人として自立する将来に向け、職業選択の一助としてもらう。(2年生)</p> <p><b>【実施内容等】</b> デイサービスにて、利用者の傾聴や作業等に参加してもらう。</p>	各学校ごとに2～3日間受入予定

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
広報紙「下田地域ケアプラザからのお知らせ」発行	<p>【対象者】 地域住民向け</p> <p>【目的】 各種事業の周知や情報伝達など</p> <p>【実施内容等】 下田地域ケアプラザ事業の周知や地域包括支援センターからの福祉制度に関するお知らせの掲載。各自治会町内会や関係機関などへ配布。（年間約22,000部発行）</p>	毎月1回発行

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
下田小学校5年生デイサービス交流会	<p>【対象者】 下田小学校5年生</p> <p>【目的】 様々な取り組みを通じて、世代間の交流を図り、地域ケアプラザの役割等の理解も深めてもらう。</p> <p>【実施内容等】 デイサービス利用者との交流を毎年実施。下田小学校5年生がクラスごとに参加し、合唱など様々な取り組みを利用者と一緒にを行う。</p>	秋頃を予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成30年度 自主事業収支予算書

## 横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
心の健康を考える講座	地域全般	事務費	地活	事務費					
	60名		包括					事務費	
	¥0		介護						
ケアプラザまつり 「ケアプラザへ行こう2017」	地域全般	20000	地活	20000					
	延べ300名		包括					20000	
	¥0		介護						
音の波言の葉 音楽と朗読のコンサート	地域全般	35911	地活	35911					
	50名		包括				33411	2500	
	¥0		介護						
自立高齢者ミニデイサービス 「喫茶マロニエ亭」	自立高齢者	180000	地活	40000					
	延べ660名		包括		140000		140000	40000	
	¥200		介護						
高齢者食事会 「御食事処すずらん」	独居(虚弱)高齢者	165000	地活	15000					
	延べ330名		包括		150000		150000	15000	
	¥500		介護						
子育てサロン「すてっぷ」	乳幼児とその親	20000	地活	20000					
	延べ1100名		包括			10000		10000	
	¥0		介護						
親子学級「イルカ」	乳幼児とその親	61137	地活	35537					
	25組		包括		25600		11137	30000	20000
	¥1,600		介護						
親子のソバ打ち 体験教室	小学生とその親	20643	地活	9843					
	10組		包括		10800			20000	643
	¥1,200		介護						
パパの育児教室	乳幼児とその親	26705	地活	26705					
			包括				21705		5000
	¥0		介護						
冬休み書初め練習教室	小学生	4500	地活	4500					
	10人		包括					4500	
	¥0		介護						
学齢期障がい児夏休み 余暇支援事業「こうほくなつとも2018」	学齢障がい児	事務費	地活	事務費					
	延べ18名		包括					事務費	
	CPでの出納なし		介護						
こうほくからふる 2018	学齢障がい児	5000	地活	5000					
	延べ18名		包括					5000	
	¥0		介護						
			生活						



平成30年度 自主事業収支予算書

横浜市下田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額									
	②募集人数	総経費	収入			支出					
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他			
サロン おはなしもだ	精神障がい者	0	地活	事務費							
	延べ60名		包括						事務費		事務費
	¥0		介護								
		生活									
ボランティア派遣・支援	登録ボランティア	事務費	地活	事務費							
	延べ1500名		包括						事務費		事務費
	¥0		介護								
		生活									
園芸ボランティア活動支援	登録ボランティア	40000	地活	40000				40000			
	延べ250名		包括								
	¥0		介護								
		生活									
ボランティア懇談会	登録ボランティア	30000	地活	30000				30000			
	30名		包括								
	¥0		介護								
		生活									
日吉台中学校2年生福祉体験学習(職業体験)	中学生	事務費	地活	事務費							
	5名		包括						事務費		
	¥0		介護								
		生活									
日吉台西中学校2年生福祉体験学習(職業体験)	中学生	事務費	地活	事務費							
	3名		包括						事務費		
	¥0		介護								
		生活									
高田中学校2年生福祉体験学習(職業体験)	中学生	事務費	地活	事務費							
	3名		包括						事務費		
	¥0		介護								
		生活									
下田小学校5年生下田デイサービス交流会	小学生	事務費	地活	事務費							
	延べ100名		包括						事務費		
	¥0		介護								
		生活									
広報紙「横浜市下田地域ケアプラザからのお知らせ」発行	地域全般	100000	地活	100000				100000			
	48000部		包括								
	¥0		介護								
		生活									
男の！セカンドライフカレッジ		148,000	地活		48,000		39,991	68,343			
	①70歳までの男性		包括						39,666		
	②10名		介護								
	③4,800	生活	100,000								
行政書士による成年後見相談会	①地域住民	0	地活		0	0	0	0			
	②10名		包括	0							
	③¥0		介護								
		生活									
成年後見制度及び老後の準備について	①地域住民	0	地活		0	0	0	0			
	②30名		包括	0							
	③¥0		介護								
		生活									

